南海トラフ地震への備えについて

高知県では近く起こるであろうと言われている南海トラフ地震に対しての備えを積極的に進めています。1946 年に発生した昭和南海地震では M8.0 を記録し、高知でも多くの被害がありました。高知市内中心部は多くの部分が津波浸水区域となっており、地震が起きた際には速やかな避難が必要です。

≪地震による建物倒壊や津波から身を守るためには≫

〇揺れから身を守る― 頭を守って身を低くする

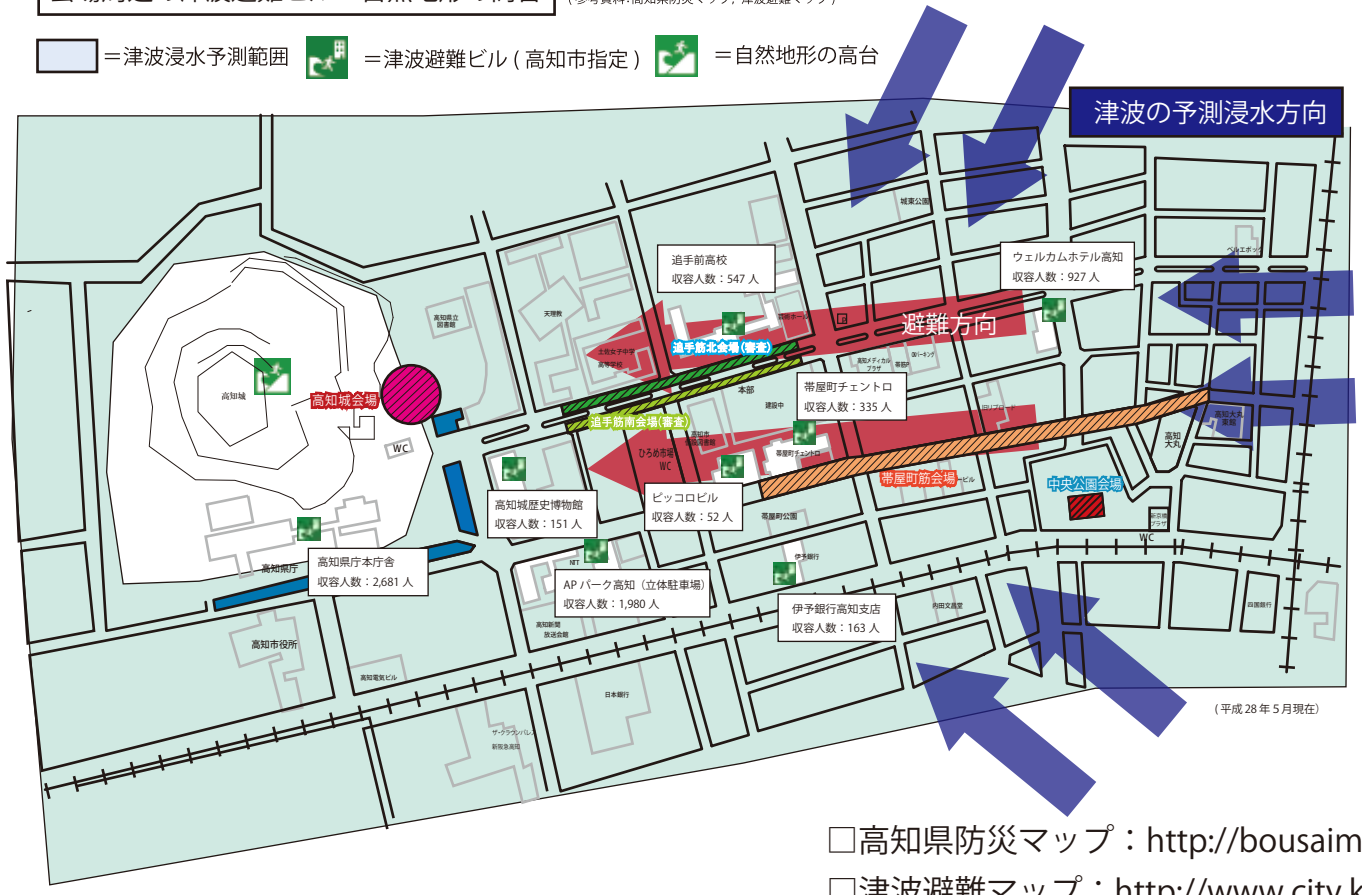
〇津波から身を守る― 速やかに決められた避難場所へ移動する

〇火災から身を守る― 安全な避難ルートを事前に確認しておく

津波浸水予測時間：約 60 分
想定浸水深：約 1ｍ～2ｍ

会場周辺の津波避難ビル・自然地形の高台 （参考資料:高知県防災マップ，津波避難マップ）

＝津波浸水予測範囲　＝津波避難ビル (高知市指定)　＝自然地形の高台



◎津波は川を逆流し、東から西へ浸水していくことが予想されます。到達予測時間は約 60 分となっていますので、慌てず冷静に高台や津波避難ビルへ避難しましょう。

◎地域によって予測浸水深・浸水予測時間は異なります。チームごとの宿泊所や移動ルートに合わせてシミュレートし、集合場所や緊急時連絡先を共有しておきましょう。その際には「高知県防災マップ」「津波避難マップ」をインターネットで見ることができますので、参考にしてください。

□高知県防災マップ：http://bousaimap.pref.kochi.lg.jp/

□津波避難マップ：http://www.city.kochi.kochi.jp/soshiki/12/koutisitunamihinan-map.html